自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
3月　No.12
発行責任　田中義明

3年生の皆さん、卒業おめでとう！ 素晴らしい卒業式でした

3月14日、第65回卒業式が実施されました。

卒業式の前日、ある3年生から「仲間に『ありがとう』という思いを伝える卒業式にしたい」という言葉を聞くことができ、とてもうれしくなりました。

当日、その言葉のとおり、「ありがとう」の気持ちがあふれ自分たちの力で卒業式を創り上げようという3年生の思いが伝わってきました。すばらしい卒業式でした。

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。　　卒業式式辞より　　一部省略

みなさんが、今、こうやって立派な姿でこの席に座っているのを見ると感無量です。

65期生の君達は、1年の時に「つながりあい　高めあおう　65期生！」を合い言葉にスタートしました。

西中の「日常・仲間・自治」の精神のもと、

日常ではJ4・J3に取組み、わからないことを教えあえる班や教室での仲間づくりを進めました。受験前の苦しい気持ちは「受験は団体戦」とみんなで声かけをあい、「全員合格」を目指して乗り越えてきました。

生徒会の月間目標に沿って、取組みを進めた仲間づくり。お互いの良さを見つけるやさしさの木、どのクラスでも当たり前になった班食べ、何が大切なのか毎日振り返ったSTなど、日々の積み重ねが少しずつ仲間意識を高めていきました。

気持ちの行き違いからトラブルになったこと、先生に反抗したこともありました。教室へ入りにくくなってしまった友達もいました。その一つひとつをクラスの課題としてとらえ、自分たちの力で取組み、解決してきました。

「日常から行事へ、行事から日常へ」を大切にした学校行事では、それまでの先生に頼っていた取組みから、パートリーダー、ブロックリーダーが中心になり学級・学年・学校をまとめ、自分たちの力でより質の高いものを目指して取り組んでくれました。その成果が合唱大会のすばらしいハーモニーと、誰もが達成感を感じた体育大会につながりました。

自分たちの力で取り組むことの大切さを皆さんは教えてくれました。

65期生は、西中の様々な取組みを前進させてくれ、すばらしい学年に成長しました。そして、とても仲の良い学年になりました。

今日、巣立っていく皆さんへ二つ伝えたいことがあります。

◇一つ目は　　「失敗を恐れるな！」（省略）

◇二つ目は　　「人とのつながりを大切に！」　ということです。

その言葉はまさに皆さんが目指してきた言葉です。

先輩から引き継いだ取組みのうえに、日常の様々な出来事を通じて、考え、つながりを大切にしてきた皆さんは、今、**強い絆**で結ばれています。

新しい世界で、壁にぶつかり、傷ついたとしても、君たちには仲間がいます。（省略）あなたが**良くなりたい気持ち**をあきらめない限り、どんな困難を前にしても、あなたに共感し支えてくれる新たな仲間、つながりが生まれます。そのことを信じてください。

君たちが、10年後、20年後も、つながっている仲間であってほしいと願っています。（略）

在校生の送辞では、先輩から引き継ぐこと、在校生の決意を伝えてくれました。

在校生送辞（在校生代表）　　一部抜粋

…学校生活で、いつもリーダーとして私たちを引っ張って下さった先輩方が卒業することはとても寂しいです。「つながりあい　高めあおう」という目標に向かってまっすぐに進んでこられた先輩方から学んだことを忘れません。私たち在校生は、この西中の次のリーダーとして「本気の声かけ」を大切にし、先輩方が引き継いでこられた「日常・仲間・自治」を意識し、よりよい学年・学校を作り上げていきます。

最後になりましたが、65期生の皆さんの素晴らしいご活躍と、輝かしい未来をお祈りします。今まで私たちを支えていただき、本当にありがとうございました。さようなら。

答辞では、5人の代表が、仲間づくり、行事、部活動、生徒会、大切な人たちへの感謝等をテーマに今の素直な気持ちを語ってくれました。3曲の合唱「ひとつの朝」「群青」「いのちの歌」は「未来への希望」「仲間との絆」「感謝の気持ち」をテーマに、学年のみんなが、歌の意味を深く考え、創りあげてくれたものです。思いのこもったすばらしい合唱でした。

65期生からの贈り物、引き継いでいくのは君たちです。しっかりと受け止めて下さい。

卒業生答辞（卒業生代表）　　一部抜粋

…三年生になって自分自身と向き合う機会が増えた。そこで自分を知ることもできた。今、自分がやりたい事、どこの高校に行きたいか。将来どんな大人になりたいか、そのために今、何をするべきか。色々なことを考えた。でも、なかなか良い答えなんてでてこない。将来のことなんて、誰にもわからないし、自分でもわからない。こんな事を考える意味があるのか、もしかしたらないのかもしれないけれど、今は考えることしかできないから、ずっと頭のかたすみで自分自身をさがしていた。こんな不安定で、くずれてしまいそうな心を支えてくれたのは、家族や仲間だった。何でもないことはすぐに話すことができるのに、大事な事を言おうとするとのどの奥が痛くなる。 誰でも、嫌なことから逃げだして早く自由になりたいと思うだろう。でも、逃げ出さなかったのは、、私のことを真剣に考えてくれる人がいるから。私のことを大切に思ってくれる人がいるから。今も、これからも、自分のために、自分の大切な人のために、自分自身と向き合っていきたいと思う。私の大切な人へ。私たちは中学校を卒業します。

いままで、本当にありがとうございました。